

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第2区分
 【発行日】平成25年4月25日(2013.4.25)

【公開番号】特開2010-217892(P2010-217892A)
 【公開日】平成22年9月30日(2010.9.30)
 【年通号数】公開・登録公報2010-039
 【出願番号】特願2010-56112(P2010-56112)
 【国際特許分類】

G 0 9 G 3/36 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

G 0 2 F 1/133 (2006.01)

【 F I 】

G 0 9 G 3/36

G 0 9 G 3/20 6 4 2 B

G 0 9 G 3/20 6 2 2 B

G 0 9 G 3/20 6 2 2 C

G 0 9 G 3/20 6 2 2 G

G 0 9 G 3/20 6 2 4 D

G 0 9 G 3/20 6 2 1 B

G 0 9 G 3/20 6 2 1 M

G 0 9 G 3/20 6 1 1 J

G 0 2 F 1/133 5 5 0

【手続補正書】

【提出日】平成25年3月11日(2013.3.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

液晶ディスプレイにおけるゲート駆動電圧制御装置であって、

導通電圧とカットオフ電圧をゲート駆動回路にそれぞれ出力する導通電圧出力端とカットオフ電圧出力端と、

前記導通電圧出力端に結合し、前記導通電圧に前記カットオフ電圧に似る波形収差を生じさせるように前記導通電圧に収差影響を印加する制御装置と、を備えることを特徴とするゲート駆動電圧制御装置。

【請求項2】

請求項1に記載の液晶ディスプレイにおけるゲート駆動電圧制御装置において、前記カットオフ電圧に類似する波形収差を有する共通電圧を出力する共通電圧出力端を更に備えることを特徴とするゲート駆動電圧制御装置。

【請求項3】

請求項2に記載の液晶ディスプレイにおけるゲート駆動電圧制御装置において、前記制御回路が前記導通電圧出力端と前記共通電圧出力端との間に設置されて両者を結合し、前記導通電圧に前記共通電圧の収差が影響させるようにすることを特徴とするゲート駆動電圧制御装置。

【請求項4】

請求項3に記載の液晶ディスプレイにおけるゲート駆動電圧制御装置において、前記制

御回路が電気容量であることを特徴とするゲート駆動電圧制御装置。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の液晶ディスプレイにおけるゲート駆動電圧制御装置において、前記電気容量の一端が前記導通電圧出力端と前記ゲート駆動回路とに接続し、前記電気容量の他端が前記共通電圧出力端とゲート駆動回路とに接続することを特徴とするゲート駆動電圧制御装置。

【請求項 6】

請求項 3 に記載の液晶ディスプレイにおけるゲート駆動電圧制御装置において、前記制御回路が RC 回路であることを特徴とするゲート駆動電圧制御装置。

【請求項 7】

請求項 1 に記載の液晶ディスプレイにおけるゲート駆動電圧制御装置において、前記制御回路が前記導通電圧出力端と前記カットオフ出力端との間に設置されて両者を結合し、前記導通電圧に前記カットオフ電圧の収差が影響させるようにすることを特徴とするゲート駆動電圧制御装置。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の液晶ディスプレイにおけるゲート駆動電圧制御装置において、前記制御回路が電気容量であることを特徴とするゲート駆動電圧制御装置。

【請求項 9】

請求項 8 に記載の液晶ディスプレイにおけるゲート駆動電圧制御装置において、前記電気容量の一端が前記導通電圧出力端と前記ゲート駆動回路とに接続し、前記電気容量の他端が前記カットオフ電圧出力端とゲート駆動回路とに接続することを特徴とするゲート駆動電圧制御装置。

【請求項 10】

請求項 7 に記載の液晶ディスプレイにおけるゲート駆動電圧制御装置において、前記制御回路が RC 回路であることを特徴とするゲート駆動電圧制御装置。

【請求項 11】

液晶ディスプレイであって、請求項 1 に記載の液晶ディスプレイゲート駆動電圧制御装置を備えることを特徴とする液晶ディスプレイ。